

人のうごき

令和2年10月届出分を掲載(希望者のみ)

おたんじょう

桑原 昊瑚 ^{こうこ} ちゃん (孝典・泉)	南町
谷口 幸之心 ^{こうのしん} くん (一秋・志穂)	南6の3

おくやみ

高島 久雄 ^{こうきゆう} さん	83歳	寿町
吉脇 春一 ^{よしわき} さん	87歳	南町
徳山 正 ^{とくやま} さん	82歳	北2の1
竹本 與吉 ^{たけもと} さん	85歳	南4の6
宮崎 武一 ^{みやざき} さん	86歳	南4の1
安岡 アエ ^{あおか} さん	98歳	北1の1

人口と世帯数(10月末)

人口	6,687人	(- 16)
男	3,210人	(- 13)
女	3,477人	(- 3)
世帯数	3,521世帯	(- 6)

() は前月比

編集後記

北海道では、新型コロナウイルス感染状況に
応じた5段階の警戒ステージを設定し、ステージ
移行の目安となる指標や、みなさんへの協力
要請を行う考え方を示しております。

10月上旬頃から道内の新型コロナウイルス
感染者数が増え続け、残念ながら10月28日より
警戒ステージ1から2へ移行しました。

みなさんは日頃からマスクの着用、うがいと
手洗い、3密を避けるなどの感染予防を行って
いると思いますが、警戒ステージが上がったこと
により、この生活がまだまだ続きそうですね。

北海道からみなさんへお知らせがありましたら、
本誌や町内回覧、羽幌町ホームページ「新型
コロナウイルス感染症関連情報」への掲載など
により情報発信しますのでご確認ください。(N)



Dr. 佐々尾の健康カルテ

羽幌町では今年度から特定健診(いわゆるメタボ健診)で
糖尿病が疑われる方に対して、精密検査を自己負担なく受け
られる二次健診として、「経口ブドウ糖負荷試験」と「尿中
アルブミン検査」を実施する取り組みを始めています。その
取り組みに道立病院も協力させていただいています。

具体的な内容は、すでに夏の健診を受けた方で対象とな
った方には通知がされていると思いますが、御存知でない方
にもお伝えすることで、冬の特定健診受診を受けていただ
ききっかけになればと思います。

糖尿病は血糖を下げるホルモンであるインスリンがうまく
働かない、または出る量が減っていることにより起こりま
す。糖尿病の初期は、空腹時の血糖値が正常または軽度の上
昇であっても、食後に高血糖になっている場合があります。
食事による血糖値の上昇に対して、インスリンが反応できず、
遅れて出るようになり、血糖値が食後に急激に上昇します。
高血糖になるため、インスリンは必要以上に出さなければな
らず、結果として膵臓に負担となり、徐々に疲弊し最終的に
インスリンが出せなくなっていくます。

この変化を見るために、決まった量(75g)のブドウ糖を
水に溶かしたサイダーを飲むことにより、どの程度血糖値が
変化するのかを見るための検査が、「経口ブドウ糖負荷試験」
です。まず、検査開始時に、血液検査を行います。その後、
ブドウ糖を水に溶かしたサイダー(225ml)を5分以内に飲み、
30分後・60分後・120分後に血液検査を行います。このとき
の血糖値の変化を確認し、空腹時の血糖値が126以上、また
は2時間後の血糖値で200以上の場合は、糖尿病の疑いが高
くなります。空腹時の血糖値が110~125、または2時間後の
血糖値が140~199の場合は、境界型糖尿病(いわゆる糖尿病
予備群)となります。

通常この検査は医療機関でお金のかかる検査ですが、羽幌
町が費用を負担するため現在は無料で受けられます。血糖
値かHbA1c値のいずれかで異常がなければ対象になりませ
んが、まずは特定健診で自分の健康状態を把握してみたい
かがでしょうか。

(北海道立羽幌病院 副院長 佐々尾 航 医師)

